



国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

Nagasaki University Choho

人を結ぶ 地域と繋ぐ
[長崎大学チョーホー]

Vol.86

2024年11月1日発行

「人を結ぶ 地域と繋ぐ」をコンセプトに、長崎大学の思いや姿、描く未来などを共有し、多くの皆様に長崎大学へ関心をお寄せいただけるような広報紙を目指します。



Web
Choho

1

魚と

The Tale of Fish
and
Nagasaki University



長崎大学

本学が拠点を置く長崎県は、豊かな漁場に恵まれていることから、水産資源の宝庫として広く知られてきました。そこで今回は“活かす・創る・食べる・知る”の4つのキーワードを軸に魚にまつわる研究や取り組みに注目。水産学部をはじめとする6つの学部と学生主体のサークル活動に注目しました。青く雄大な海が、私たちにもたらしているものとは？魚と本学の関わり合いを多様な接点から見つめます。

NAGASAKI BLUE ECONOMY



ながさき BLUE エコノミー ノルウェーサーモンに続け 「JAPAN 鮭」

ながさき BLUEエコノミー 詳細情報はコチラ!

活かす

とる漁業から 養殖へ

地域を潤し 世界を支える水産業へ

「ながさきBLUEエコノミー」は、2023年に国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「共創の場形成支援プログラム」地域共創/本格型に採択された大型プロジェクトです...という難解ですが、平易に言えば、低迷する日本の水産業を盛り立て、持続的な水産食糧生産が可能な拠点づくりのモデルケース構築を託されたプロジェクトです。10年を目標に新たな養殖技術を創出し、雇用を生み、若者が定着し活気づく地域の構築を目指す取り組みが、長崎大学を代表機関として進行しています。

カギとなるのは 養殖のDX化

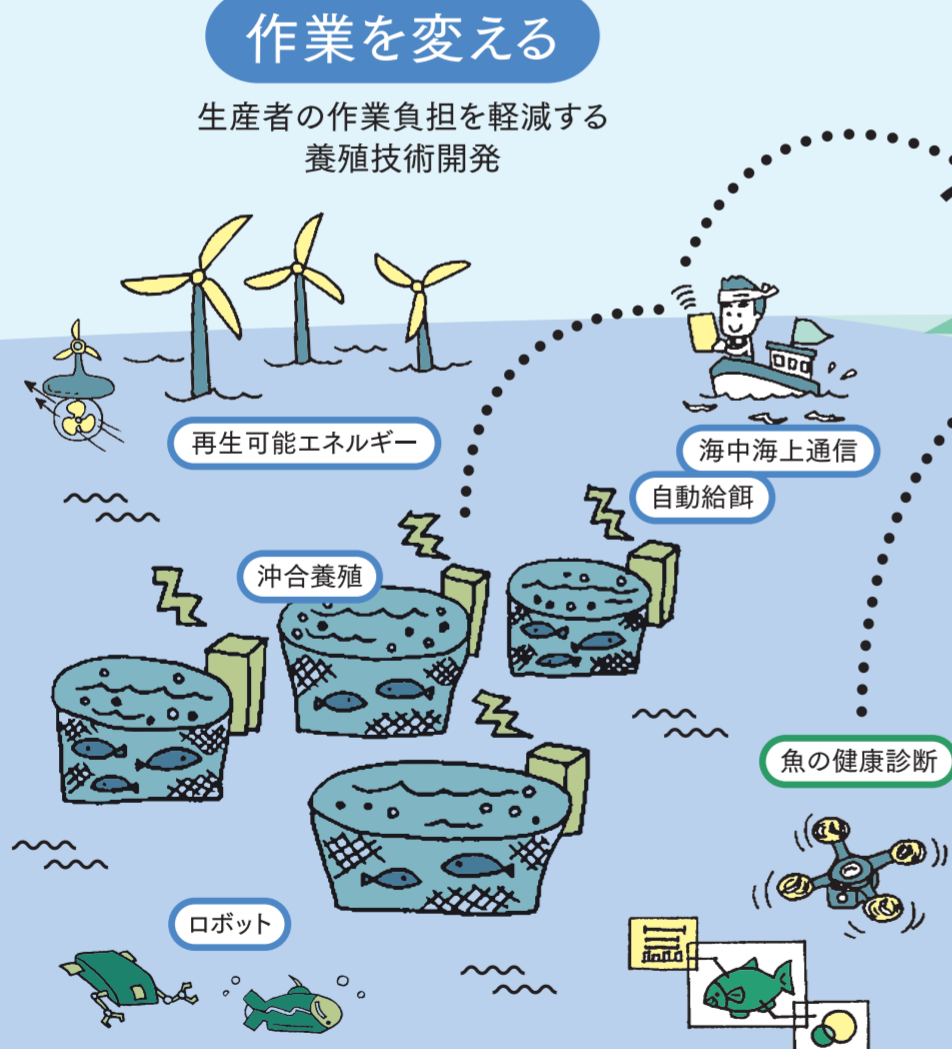
「ながさきBLUEエコノミー」で掲げているのが「養殖のDX化」です。「作業を変える」「育て方を変える」「働き方を変える」という3つのイノベーションを目指し、これらを持続的に支える「人材育成」にも取り組みます。水産物の輸出促進は、日本の水産業再生の柱と位置付けられています。そこで、世界的に人気が高く販売拡大が期待できる魚として、水産庁はブリを「国際戦略魚」と位置付けています。このプロジェクトにおいても、環境に配慮して育てた完全養殖のブリを「JAPAN鮭」と命名し、持続的に世界に輸出するモデルの構築を目指しています。

あらゆる分野の 知識と技術を結集

「ながさきBLUEエコノミー」のミッションは容易ではありません。例えば海を汚さない養殖として沖合養殖という方法がありますが、それを実現するためには、多くの課題があります。浮沈式の生け簀や洋上でのエネルギー獲得のための洋上風力発電、潮力発電技術の開発。さらに海の環境データ収集のための水中のデータ通信技術や、人が頻りに行けないため自動給餌システム、魚の病気を未然に防ぐための魚の健康診断技術、完全養殖のための人工種苗生産技術などの確立。鮮度を保ったまま輸出を可能にする流通システムの完備等々。水

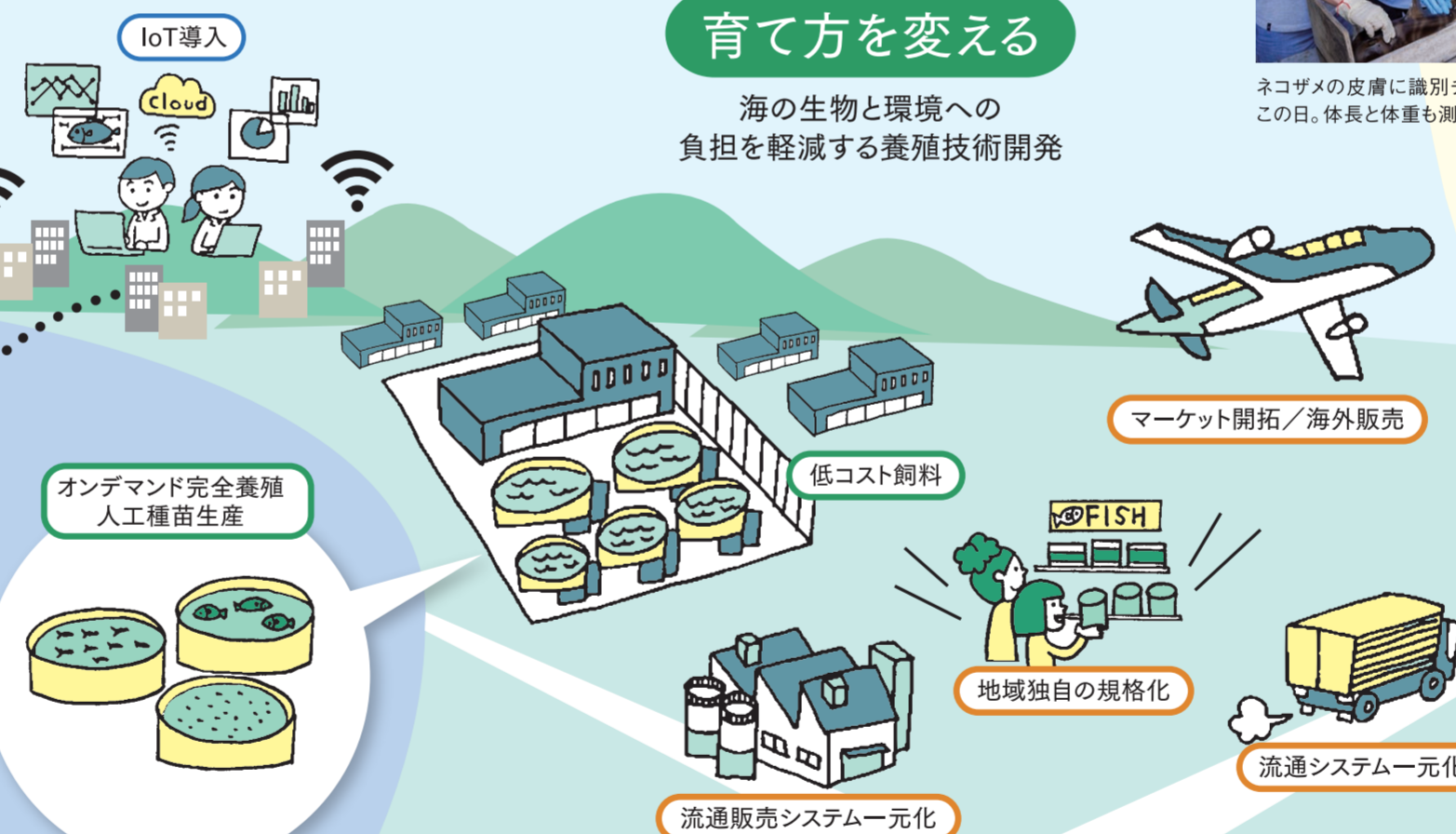
作業を変える

生産者の作業負担を軽減する 養殖技術開発



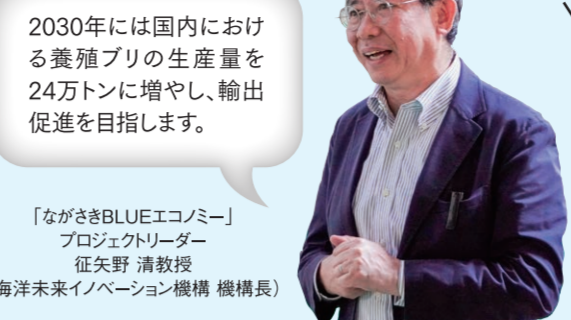
育て方を変える

海の生物と環境への 負担を軽減する養殖技術開発



働き方を変える

若者が魅力を感じる 水産プラットフォーム



「ながさきBLUEエコノミー」プロジェクトリーダー 征矢野 清教授 (海洋未来イノベーション機構 機構長)



プロジェクトの一環として高島に開設した「高島水産研究所」。

産学はもちろんのこと、海洋工学、情報データ科学、環境科学、社会科学などあらゆる分野の知見と協力企業の技術を結集した「総力戦」が日夜行われています。

Web Chohoでも解説中!

2030年には国内における養殖ブリの生産量を24万トンに増やし、輸出促進を目指します。

創る



ネコザメの皮膚に識別チップを装着したこの日。体長と体重も測定しました。

薬学部 創薬研究の最先端を行く 人間とサメが創り出す 新薬の未来

生物の体を守る生体防御機構である免疫において、人の体内に侵入してきた病原体などに結合するたんぱく質のことを「抗体」といいます。薬学部では、サメが重鎖抗体という特殊な抗体を持つことに注目し、底生サメ、具体的にはネコザメやトラザメの重鎖抗体を活用した抗体医薬品の研究に取り組み、従来のバイオ医薬品に代わる新薬の開発を目指しています。



谷村准教授(中央)と薬学部の大学院生・学部生の皆さん。

「創薬の研究では、ラクダ科の動物の重鎖抗体を用いたナノボディと呼ばれる抗体医薬品の研究が多く行われています。しかし、本学には水産学部があり、サメの飼育に適した環境が整っていることから、この挑戦が始まりました。サメを使った研究自体は他にもありますが、ネコザメやトラザメの重鎖抗体に着目した研究は例がないため、解析ツールなど実験系の構築から始める必要があるなど、開発にはまだまだ時間

がかかります。しかし、サメ由来ナノボディを創薬に実用化できれば、シンプルな製造工程により、高額であることが課題だったバイオ医薬品を従来よりも安価に作れるようになるでしょう。それに、人間の細胞の内部で薬が作用することで薬の効き目も変わるかもしれません」と研究に携わる谷村准教授。がんや認知症などに苦しむ人たちのために、人間とサメが創り出す新薬の誕生が待たれます。

※バイオ医薬品/多くは、抗体の遺伝子を導入した動物培養細胞を用いて製造する。重鎖抗体とナノボディ/医薬品に使われる抗体は、重鎖と軽鎖からできている。重鎖抗体は重鎖のみならず、構造がシンプル。ラクダ科動物の重鎖抗体から、もっとも重要な抗原と反応する部分だけを人工的に取り出して使用するのがナノボディ。

医学部・工学部

外科医も絶賛 長崎大学発明の 医療用器具 新展開に注目



山本 郁夫 教授

外科医である私が、自ら特許出願まで動いた印象深いプロジェクト。これからの展開にもご期待ください。

「鉗子とは、主に手術に使用する医療用ピンセットのこと。臓器や血管を傷つけないよう、その表面に薄く薄い膜を優しく、しかし、しっかり持つという相反する性能が求められます。『鮫肌(さめかわ)に似た鱗状の模様を医療に使えないか』。きっかけは、ロボッ

ト工学のエキスパートである山本郁夫教授(工学研究科)から永安武教授(当時)率いる長崎大学大学院「ハイブリッド医療人養成コース」へ寄せられた相談でした。永安教授(当時)らは、この構造を鉗子に適用できないかと考え開発をスタート。鮫肌の持つ機能を科学的に再現し、2014年に外科医も驚くほど高い性能を持った「鮫肌鉗子」を完成させ、その構造は特許も取得しました。

そして現在では、この技術の内視鏡の鉗子に適用するなど「長崎大学ブランド」の確立に向けた動きに、熱い注目が集まっています。

鉗子/物をつかんだり牽引したりする際に用いる器具。手術時に欠かせない医療器具として使われている。



細かい歯のような鱗で覆われている鮫肌模様を、ピンセットの先端と指が当たる部分に加工。臓器表面の薄い膜もピンポイントでつかめる。

食べる

長崎大学魚料理研究会

長崎から魚食文化の活性化を 大学サークルが 地域で活躍中

詳細情報はコチラ!



皆さんはどのくらい魚を食べますか? 自分で魚を捌けますか? 日本人の魚消費量は年々減り、その理由の一つに、魚を料理するのが面倒ということが挙げられています。日本人の魚離れが進む中、魚食の回復を目指した活動をしているのが、長崎大学魚料理研究会です。魚の捌き方を学び、捌いた魚を調理するほか、地域のブランド魚を使ったメニューの提案や魚をテーマにしたイベント、地域活動にも積極的に参加。会長の祝翔太さんは「活動を通して魚食文化が広がるのを実感します。子どもたちから“魚を捌くのが楽しい”と言われると嬉しいです」と活動の手応えを語ります。漁

獲魚種250種以上で「日本一」と言われる長崎で「長崎市さしみシティプロジェクト」の公認サークルにも認定。“長崎の美味しい魚料理を作り発信し、魚食文化の活性化につなげたい”という目標を目指して熱い活動が広がっています。



魚料理研究会がレシピを考案した「伊王島日の出カマサと夏野菜のおろしポン酢」。8月に長崎市役所のレストランで提供されました。

長崎で獲れた魚を皆で捌いて食べる。それが活動の原点です。

子どもたちにどうすれば海の魅力が伝わるのか。考えるのが楽しいです。



5代目会長 祝翔太さん (水産学部3年)

おさかなあみだの製作者 中地桃花さん (水産学部4年)

長崎の旬の魚を知ろう! 食べよう!

おさかなあみだ

スタート!

「長崎の旬の魚を知ろう! 食べよう! おさかなあみだ」は、地元の水族館とのコラボ企画。魚のピックアップからメニュー、イラストまで学生が作成しています。長崎で獲れる魚や豆知識を楽しく学べると好評でした。

詳細情報はコチラ!



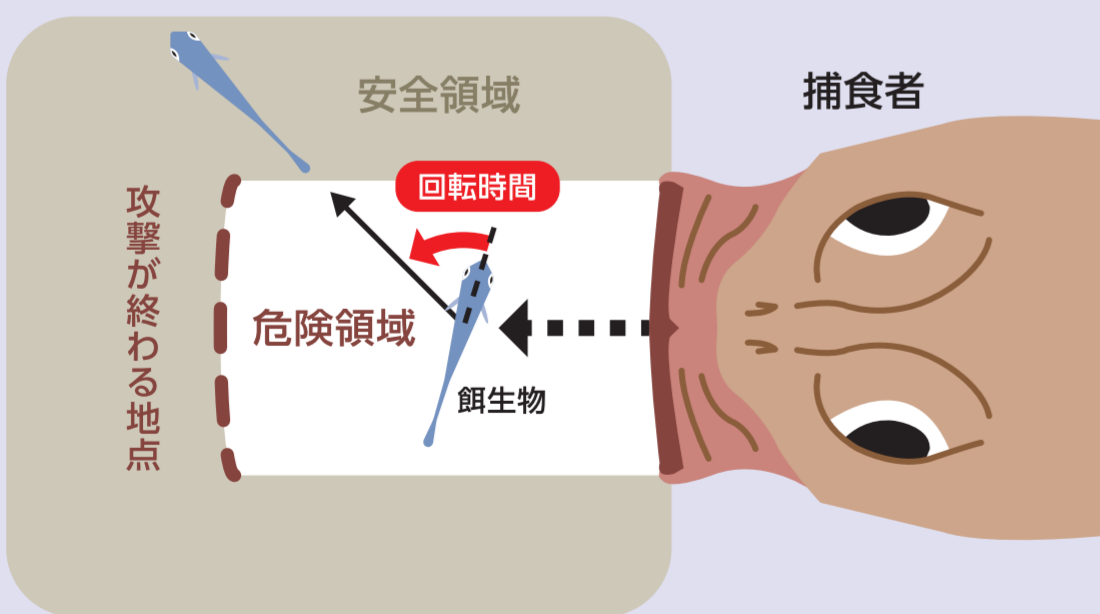
水産学部

魚はなぜ2つの方向に逃げる? 謎を解明する 新たな数理モデル



発表までに10年を要した研究です。実際の魚を使う実験では、マダイの稚魚とカサゴを戦わせました。

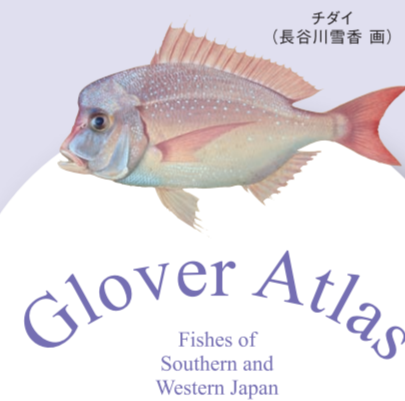
河端雄毅 准教授



食べられそうになった魚が捕食者から逃げる時の方向は複数あり、その中には1番目に好む方向と2番目に好む方向があります。この普遍性の高い現象について、数学的に説明することに成功した河端雄毅准教授。ポイントとなったのは、新たに導き出した数理モデルでした。「魚が逃げる時に方向転換にかかる時間の違いと捕食者が餌にア

タックした後、動きが止まる現象を新たに数理モデルに加えしました。数理モデルから導き出したシミュレーションを基に、実際の魚や模型を使って実験を行った結果、捕食者から学習されないよう、複数の逃避方向を使い分けているのではないかという仮説も生まれました。今後、実証実験を行う予定です。昆虫や動物の逃避行動にも応用

できる汎用性の高い数理モデルであることも実証済み。今後の展望について、河端准教授は続けます。「車と野生動物の衝突回避に応用できる可能性があります。ロードキルの専門家と共同研究を進め、野生動物の逃避行動を完全に予測できるようにになれば、自動運転技術の革新にも関係できるかもしれません」。



Glover Atlas

Fishes of Southern and Western Japan

グラバー図譜

長崎に留められたのは偶然か必然か

長崎大学附属図書館が所蔵する貴重資料の一つ「グラバー図譜」。倉場富三郎が、長崎に水揚げされた魚類を絵師たちに描かせた魚類図譜です。なぜ本学に寄贈されたのでしょうか。詳しく紹介したChoho84号をご覧ください。

Choho84号



イシガニ (萩原魚仙 画)

経済学部

地域経済の視点から 水産業の課題を あぶりだす

詳細情報はコチラ!



演習の最後には、雇用促進用のキャッチフレーズや商品の付加価値を高めるパッケージングなどを提案しました。

高井計吾 助教



魚の水揚げ量や日本人の魚消費量の減少問題は、長崎の水産業にどのような影響を及ぼしているのでしょうか。まずは課題を知ることが問題解決への第一歩。今後の水産業の活性化と発展に向けた足掛かりになります。経済学部では、長崎の地域経済が直面している課題をあぶりだし、それらの原因や解決策を見い出す

実践的なカリキュラムが充実しています。今年5月から7月にかけて行われた領域演習では、学部2年生が、手作り干物を主力事業とする山道水産株式会社の課題解決に挑戦。長崎魚市場や加工工場等で働く従業員の皆さんにアンケートを実施し、その結果、人材不足の現状とともに、高い加工技術を持つ人材確保の難しさという課題が見えてきました。



学生自ら早朝の長崎魚市場へ足を運び、現場の声を聞きました。

魚の町 7

多文化社会学部

文献をひも解くと分かる 江戸時代の 長崎人は魚好き!?

長崎市中心部に位置する魚の町。町名に“魚”が付くのは、なぜでしょう。「かつてそこに魚市場があったからです。江戸時代初期にあたる1630年頃には存在しており、国内ではかなり早い方だったと思います。当時の長崎は人口だけでなく、人の往来も多く、普段の食事から贈答品まで魚は欠かせないものでした。そのため、多くの種類の魚を扱う市場が成立していたのでしよう」。

研究に用いる古文書や文献の中には、度々、長崎の食文化に関する発見があるとか。木村直樹教授は続けます。「江戸時代に食べられていた卓袱料理のメニューを記録し

た文献を読むと、2月は酢の物にヒラメ、和え物にイカやアワビが使われています。豊富な魚種を誇る長崎の魚食文化は今に始まった訳ではなく、長い歴史の中で育まれてきたのですね」。

魚市場の存在は、400年前の長崎の町が指折りの巨大都市であったことを示す、一つの指標にもなります。

木村直樹 教授



知る

Saiyu Fund

[西遊基金]



Choho80号



寄附に込める想い

諦めることなく有意義な学生生活を送ってほしい

2015年 経済学部卒業 **岩城静香** さん(旧姓:村田)

1回生の終わり頃、大学の語学研修プログラムを利用してオーストラリアへ短期留学しました。この留学が、私の人生の方向性を決める大きな経験となりました。若い学生の皆さんには、勉強

や研究はもちろんですが、留学やボランティア、多くの人と交友関係を築くことも構いません。時間もお金も捻出できる今しかできないことを経験して欲しいと思います。

その一方で、当時の私も充実した学生生活を送るためには資金が必要でした。教科書代や趣味に使うお金、就職活動が始まると交通費も負担になり、アルバイトを頑張らなくてはやっていけず、肝心の学業を疎かにしがちでした。学業に打ち込みながら様々な経験ができるのは、大学生の時だけです。社会人になると、例えばお金があってもやりたいことをやる時間を捻出することが困難になります。もちろんアルバイトでもとても良い経験はたくさん得られますが、限られた学生生活の中で、資金を稼ぐためのアルバイトだけに時間を使って欲しくない。現役の長大生の皆さんには、なにか一つ諦めることなく充実した学生生活を送って欲しい。大学を卒業した私の心には、ずっとそんな想いがありました。

私のような若い世代にとって寄附を

するという行為は、まだまだハードルが高いかもしれませんが、それでもなぜ私が寄附をしようと思ったのか。それはChoho80号で紹介されていた、ウクライナからの留学生の記事や、コロナ禍で困窮している学生さんの記事を読んだからです。今、切実に困っている人たちがいる。「今の子どもは大変だな」と頭で考えているだけではダメだ、行動に移さなければという考えに至ったからです。寄附を続ける理由はもう一つあります。私が勤務する会社は、つねに人材不足に悩まされています。たくさんの経験と学びの機会を与えてくれた母校。これからも優秀な人材が育つ環境であって欲しいと思っています。そしてできるならば、優秀な卒業生の皆さんの中から、弊社を選んでくれる人が一人でも出てくれると嬉しです。



岩城さんの勤務先は、通信大手のJCOM株式会社。営業からシステムエンジニアに転身した努力家です。趣味はフィギュアスケート観戦。大学時代には関東、関西の2会場でソチオリンピックのパブリックビューイングを企画・開催した実績も持ちます。

亡き父の名を母校に遺す

村岡雄一郎 さん

私の父・村岡陽一郎は、1966年に長崎大学経済学部を卒業しました。卒業後、野村證券に入社し、最終的にふるさとの佐賀を拠点に仕事をしてきたものの、74歳の時に出張先で急逝しました。父の死によって、父が全力で生きたことに対して共感・尊敬の念が

湧きました。何かの形で遺す方法を模索していたところ西遊基金の存在を知り、寄附者の名前を銘板に刻んでいただけということで、父の名前で寄附を始めた。父は大学では特待生だったようで、私が小学生のころ、奨学生手帳らしき

ものを見た記憶があります。当時実家は経済的に余裕があったとは言えず、奨学金給付で非常に助かったでしょう。その恩恵は次世代の私も受けたいと言えます。かつて父が恩恵を与った長崎大学には、今度は父に代わり私がお返しする番と思っています。

2年前に文教キャンパスを訪ねましたが、片淵キャンパスは今回が初めてです。60年前に、とても洒落た校舎と趣のある土地で父が学んでいたことを想像できます。父が私に長崎大学へ来るように呼んだのだらうと思うと感慨深いです。

出来る限り父の名前での寄附を継続する予定ですが、日本の学生のために使って欲しいと思っています。自分の得意をとことん伸ばしエッジを立て、将来社会に貢献していける学生の支援に使っていただければ嬉しいです。父は父の人生を一生懸命頑張って生きたので、同じような志のある方に使っていただければ供養にもなるでしょう。



今回、お話を伺うために片淵キャンパスにお迎えしました。母校や縁のある先へも寄附を続けられているそうです。「お金は道徳心を持って動かすべきで、お金をどう使うかは人生そのものと思っています」。



経済学部を卒業した頃の村岡陽一郎さん。上京前に母と撮影した1枚。



西遊基金の銘板には、今回寄附された村岡陽一郎さんのお名前も顕彰されています。



長崎大学サッカー部

長崎大学サッカー部 廃部の危機!?

1962年創部のサッカー部は、2022年度に60周年を迎えた歴史ある部。かつては九州大学サッカーリーグ1部に所属した古豪です。

今年度は広島に遠征し、広島大学体育会サッカー部と「平和親善試合Peace Match」を開催し、「平和への想い」を発信する活動も行いました。

しかし、現部員は28人。うち13人が4年生で、これからの部員不足と部費不足が悩みです。いずれは長崎でPeace Matchやリーグの試合を開催し、大学や地域を盛り上げ、長崎に好循環を生み出したい! 子どもたちの憧れるお兄ちゃんお姉ちゃんでありたい! と頑張っています。



副部長 経済学部4年 松尾龍征さん(左) プレーヤー 経済学部4年 板橋蓮さん(右)

お笑いサークルCCC

年間来客数 1000人を 達成したい!

CCCは主にライブを通じて、長崎から日本中をお笑いの力で笑顔にするために日々頑張っております! 大学内で単独ライブを開催するほか、M-1グランプリに出場したり、県内のイベントにも出演したりしています。最近では、他大学サークルとの合同ライブも開催しました。ライブをもっとたくさん開催して、皆様にたくさんのお笑いを届けたいです!

薬学部1年 申間弥和さん(上) 経済学部1年 清水郁弥さん(下)

長崎大学全学硬式テニス部

目標は全日本大学対抗 テニス王座決定試合1部昇格!

私たちは男女合わせて14人で週4回活動しています。1部昇格を目指して挑んだ今年の王座決定試合では男子2部リーグ2位、女子2部リーグ3位という悔しい結果に。今は1、2年生が中心となって次の大会に向けて頑張っています。しかし、長崎では試合がほとんどなく、県外の大会への出場も移動費の負担が大きく参加を見送らざるを得ないこともあります。もっと多くの試合に出て、強くなりたいです!



長崎大学総合診療 ぶらいまりけあサークル「そぶら」

日本プライマリ・ケア 連合学会学術大会で発表したい!

設立3年目の新しいサークルで、へき地離島医療・家庭医療・公衆衛生・国際医療・臨床推論などを日々学んでいます。毎年、学術大会での発表や、離島・へき地訪問実習を行っています。移動費や宿泊費の負担が大きく苦労しています。活動を通じて長崎から総合診療を盛り上げ、住み慣れた地域で安心して暮らせる医療体制づくりに貢献したいです! ご支援よろしくお願いします!



長崎空き家再生 PROJECT CRANE

空き家リノベーションを アップグレードしたい!



私たちの主な活動は空き家のリノベーション、改修した空き家のイベント貸し出しスペースとしての運営管理、地域住民との交流を目的としたイベントの開催です。

その他にも地元の中学生や高校生に、空き家問題に関する講演もしています。今後も地域活性化貢献に向けて活動を強化していくため、空き家リノベーション、瓦屋根の補修、空調設備の設置、イベントの初期費用へのご支援をいただけないでしょうか。

助けて先輩!

私たちがサークル活動をする中で困っているのは資金不足。時間があってもお金がない、資金があればもっといろんな挑戦ができます。日々悩みながら活動しています。だから先輩の皆さん、私たちに助けてください!

※長崎大学では、学生団体への支援を受け入れるためのサークル活動支援基金を設けています。

サークル応援サイト



環境科学部 3年 坂口樹さん(左) 多文化社会学部 4年 堀田幹菜さん(右)

女子アイスホッケー部

全国大会出場を目指す!!

女子アイスホッケー部は2001年に創設されましたが、長崎県内のスケートリンクは、2010年に、施設の老朽化により閉鎖されてしまいました。

そのため現在は、工夫をこらして陸上でインラインスケートを履いての練習や筋トレ、体力作りなどを行っています。氷上での練習は長崎大学文教キャンパスから車で片道2時間ほどの福岡県久留米市のスケートリンクで行なっていますが、11人と少ない部員数では、移動費やリンクの利用費の負担は大きいです。

全国大会出場を目指して、もっともっと、氷上での練習をしたい! 部員数を増やしたい! 歴史ある長崎大学女子アイスホッケー部を守りたいです!



東京交流会を 令和7年2月6日(木)に 開催します!

いち早く東京交流会の参加申込のご案内をお知らせします。ぜひ、校友会メールマガジンにご登録ください。



西遊基金

「西遊基金」は、長崎が長年にわたって培ってきた個性と伝統を基盤に、地域の発展から地球規模の課題まで、種々の問題を解決するための傑出した人材育成を目指した、長崎大学独自の修学支援、さらに教育・研究の幅広い支援を目指した基金です。 TEL:095-819-2155

思い出の場所
募集中!

私たちの思い出の場所 おこのみむら 池田廣美さん

鉄板を挟んで笑ってばかりの楽しい38年



創業は昭和61年。当時、長崎でお好み焼きと言えば、関西風か駄菓子屋さんで食べていた一銭焼き。広島風のお好み焼きの専門店はほとんどありませんでした。私は長崎出身なので、広島に遊びに行った時にこのうすく伸ばした生地の上に、野菜や肉をのせてひっくり返す食べ物はなんだ?どうやって食べるんだ?と首をかしげました。それが広島のお好み焼きとの出会いです。食べるとても美味しく、2年後にサラリーマンを辞めて広島の店に修業に入りました。

それから半年後の6月に店をオープン。近所のハンバーグ店のマスターから、「ここは良い場所だよ」と教えられた立地

でしたが、結果は大正解でした。長崎大学の北門を出て、花丘町方面へ真っすぐ歩けばたどり着くので、長大の学生さんたちが大勢来てくれるようになりました。

長大生はみんな面白い子ばかりですよ。例えば、夕方にシングル(麺1玉)を食べるとお腹がすく、ダブルを食べると寝るまでもつ、トリプルを食べると朝まで大丈夫という学生がいました。その日の懐具合で麺の量を決めていたようです。またある日は、麺を何玉食べられるか挑戦した工学部の学生もいましたが、9玉食べて、その後は「しばらく食べなくていい」と店に来る回数が減りました。

アルバイトは長大生がメインです。いつもお金に困っていた学生が、「肉を食べたい」と言って始めた、アルバイト同士の誕生日会は20年以上続く伝統になり、私が提供する資金で好きなものを買ってきて皆でお祝いします。店のインスタ



広島風のお好み焼きを美味しく味わうためには、焼きたてを食べるのがおすすめ。鉄板の前が店一番の特等席です。

グラムもアルバイト生が始めてくれましたが、フォロワーが1万人になるまでは自分は見ないと伝えています。

卒業生の皆さん、今でも鉄板の前に立っている時は笑ってばかりいるので、38年も時間が経った感覚がありません。変わらず楽しく商売しています。ぜひ、インスタグラムを見て、フォロワーになってください。



たっぷりのキャベツと麺が入った広島風お好み焼き。

アンケートのご協力をお願い

広報紙Chohoへのご意見・ご感想をお寄せください。

- 面白かった記事
- 本紙に対する意見・感想
- 今後取り扱ってほしい内容
- 長崎大学からの情報発信全般についての意見・感想
- 本学との関係
- 年齢
- 氏名(ふりがな)
- 郵便番号
- 住所
- 電話番号を明記してください。



◎ハガキ/〒852-8521 長崎市文教町1-14 長崎大学広報戦略本部 宛

◎FAX/095-819-2156 ◎メール/kouhou@ml.nagasaki-u.ac.jp

◎応募期間/2025年2月未まで

読者プレゼント

アンケートにご協力いただいた皆様の中から、抽選で10名様に、「長崎大学オリジナルQUOカード(500円分)」をプレゼントします。賞品の発送は2025年3月を予定しています。※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



長崎大学SNSサイト



X



Facebook



Instagram



YouTube

Choho

直接送付サービス
受付中!



広報紙Chohoはその多くを、各学部同窓会様の会報誌送付の際に、直近の号を同封してお送りさせていただいています。そのため、読者の皆様には、必ずしもChohoを毎号お届けできないケースがあり、「前号のChohoも読みたい」「定期送付を希望」といったお声をいただいております。そこで、ご指定の住所へChohoを直送させていただくサービスを行っています。

上記サイトへアクセスいただき、ご登録をお願いいたします。皆様のご利用をお待ちしております。

送付先変更のご連絡はこちらまで



編集後記

長崎大学は10学部6研究科1学環と3つの附置研究所や病院、図書館を擁する総合大学です。1万2千人を超える学生、教職員が所属するキャンパスでは多様な研究や教育が行われており、活気に満ち溢れています。そんな総合大学ならではの長崎大学の姿を広報紙Chohoでもお届けしたい、と全学横断的なテーマを模索していた際に、浮かんできたのが今回の特集「魚と長崎大学」でした。

長崎県は古くから水産業が盛んで、現在でも漁獲魚種は全国で1位という水産資源に恵まれた土地です。更に長崎大学には全国的にも珍しい水産学部があり、「魚」の研究に適した環境が揃っているのです。学内を調査したところ「魚」にまつわる話題がたくさん集まりました。

最先端の研究はもちろん、医工連携で生まれた医療用器具、大学生が地域の水産加工会社の課題解決を考える教育カリキュラムでの一幕や、長崎の魚の普及活動に励む学生サークル等、幅広く取り上げています。全5ページと広報紙Chohoでは最大ボリュームの特集です。ぜひ、お楽しみください。

(広報戦略課 中村優花)

